

■永岡桂子文部科学副大臣を訪ねて

去る7月19日、岩熊まき（副会長）、林雅弘（理事）、石田佳子（男女共同参画推進委員長）の3名が、当会の長年にわたる男女共同参画推進に関する活動を紹介するために、文部科学省に永岡桂子文部科学副大臣を訪ね、懇談の機会を持ちました。

この懇談は、6月13日の定時総会後懇親会の際、来訪されていた同副大臣と岩熊、石田との対話がきっかけとなって実現したものです。

懇談の冒頭、副大臣に対して石田から、CPD教材「男女共同参画の実践－技術者・技術士の活躍に向けて－」、「技術サロン報告書－いま、そして、みらいの女性技術者が輝くために技術サロンからの提言－」をお渡しいたしました（掲載写真）。

その後、技術士制度担当の奥野真人材政策課長や担当官3名も交え、副大臣を囲んで、一つの大きなテーブルに着き、約1時間、懇談しました。

岩熊、林、石田のそれぞれから、女性技術士の現状（増加の状況、各部門の割合）や、男女共同参画推進委員会の主要活動である女子学生・女性技術者を対象とした「技術サロン」における質問や悩み事・相談事例、更には技術士会全体で展開している「理科教室」、災害時の協力活動など多岐に亘る活動を紹介しました。副大臣は、「女性技術者、女性技術士の増加に繋がる様々な取組について、メディアを活用した広報活動をもっと積極的にしてはどうか。」といったアドバイスなどを率直にお話くださり、大変有意義な時間となりました。

最後に、副大臣から技術者・技術士を増やしていく取組は男性、女性ともに行っていくべきことですから、これからもしっかり活動することを期待しています。」とお励ましいただき、退出いたしました。

今回の懇談を契機に、会員各位の更なるご理解の下、当会の男女共同参画推進活動を活性化してまいります。



永岡副大臣に報告書を渡す石田委員長



左から林理事 岩熊副会長 永岡副大臣 石田委員長
(文部科学省副大臣室にて)